

申し合わせ及び確認事項

2020年2月29日(改)

印旛都市少年野球連盟

1. 野球協会主催大会出場チーム(但し、全日本学童千葉県大会優勝チーム及び関東学童千葉県大会出場チーム)及び千葉県スポーツ少年団大会優勝チームは、千葉県少年野球大会(千葉日報杯)への出場は出来ない。
2. 県大会(千葉県少年野球連盟及び野球協会主催の大会)出場チームは、学校行事等による大会日程・時間の変更は不可能な為、原則として最終日まで出場可能なチームとする。
3. 投手の変化球は禁止し、変化球に対しては「ボール」を宣告する。再度繰り返した場合は交代させる。
4. 作戦タイムの回数制限は7回戦で攻撃側・守備側各3回とする。尚、特別延長戦は1回につき各1回とする。内野手(捕手含む)が2人以上マウンドに行った場合は、1回にカウントする。
5. 監督が投手のところへ行く回数制限は、規則 5.10(2)を適用する。
6. 走者及び打者走者は走塁の時ベースコーチまたは選手に触れてはならない。走塁補助としてアウトを宣告する。また本塁打の走者を迎える場合はベンチ前のみとする。
7. 監督に限り、グラウンドに出て、指示等をする事が出来る。
8. 各イングの投球練習時、控え捕手に代わって指導者が出来るが、他の選手の練習相手は出来ない。
9. ベンチ内は禁煙。試合中、喫煙を目的としてベンチを出た場合は、再びベンチへ戻り指導する事は出来ない。ただし生理的又はその他理由により、球審の許可を得た場合はこの限りではない。
10. メンバー交換終了後、ユニフォーム着用者以外はグラウンドに出る事は出来ない。
11. 代理監督が28番、又は29番を着ける場合のベンチ入りはこの2名である。
この場合、メンバー表に必ず「代理」の記載をする事。
12. シートノック行う監督又はコーチにボール渡しを行う選手はヘルメット着帽のうえ、トス渡しとする。
球審へのボール渡しを行う選手はヘルメットを着帽する。
13. 代表者、スコアラー、介護員の服装は帽子に限り同形の物を着帽し、靴は運動靴を着用する。
14. スパイクシューズは監督、コーチ及び選手は全員同系色とする。(金属製の使用を禁止する)
15. 投球練習(ベンチ前の投球練習含む)及びシートノック時、キャッチャーは防具、面を着用の事。
また、シートノック時キャッチャー後方にいる選手はヘルメットを着帽の事。
16. 監督、コーチ、審判は認定証を携行し、提示出来る様にしておく。

以上